



第 1256 回例会報告

【1 月はロータリー理解推進月間】

平成 24 年 1 月 19 日(木) 晴

会長挨拶

会長 三村昌暉

ポリオ撲滅募金キャンペーンのプレスリリース

2012年1月17日、米国カリフォルニア州、サンディエゴで開催中のロータリー国際協議会において、以下のニュースが発表されました。

★全世界のロータリークラブがポリオ撲滅募金キャンペーンの目標額2億ドル（約156億円）を達成！

ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からロータリーに授与された3億5500万ドル（約277億円）のチャレンジ補助金に応えるため、ロータリーは、独自に目標2億ドルを集める募金キャンペーンを展開してきました。ポリオはワクチンで予防が可能であるにもかかわらず、現在も子どもたちがポリオに感染している国があります。集められた資金は全額、感染者が出ているこれらの国での予防接種の支援に充てられます。

★さらに、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団がポリオ撲滅に向け5千万ドル（約39億円）の追加補助金の授与を発表！

目標達成のニュースに続き、ゲイツ財団の最高執行責任者ジェフ・レイクス氏が、以下のコメントを発表いたしました。「今回のロータリーの素晴らしい達成を称えるとともに、皆さまのさらなるご健闘を願い、当財団は、さらに5千万ドルの追加補助金を授与することを決定しました。これにより、私たちのパートナーシップがさらに発展することを願っています。ポリオ撲滅の活動は、ロータリーが始めたものであり、これからも、民間による募金や草の根の参加を促し、ポリオ撲滅を各国政府の優先項目として掲げてもらうために、ロータリーが中心的な役割を果たしていくでしょう」

1988年以来、ポリオ発症数は99%減少し、年間35万件だった当初と比べ、2011年にはわずか650件となりました。現在、野生ポリオウイルスは、アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタンの4ヶ国のみで常在しています。このうち、インドでは、1月13日までの1年間、ポリオ無発症の状態を維持しており、

常在国のリストから外される可能性が高くなっています。

しかし、上記以外の国々でも、常在国からのウイルス流入による感染の危険が今なお続いています。アフリカ大陸では、2011年にチャドとコンゴ民主共和国でポリオが流行しました。また、同じく2011年、中国で10年ぶりに、少数ながらポリオの新たな感染者が確認され、このウイルスがパキスタンから流入したものであることが分かっています。

乏しいインフラ、遠隔地や紛争地域での予防接種、撲滅活動に対する文化的な誤解など、撲滅への課題は現在も多く、ポリオウイルスが根強く残る国々では、すべての子どもに経口ポリオワクチンを投与するために、莫大な労働力と財源が必要とされています。

ポリオ発症数が99%減少したにもかかわらず、なお多くの労働力と財源が必要な理由は以上の通りです。ポリオ撲滅に向けた取組みを推し進めなければ、ポリオ発症例数が増加に転じ、さらに周辺国への感染被害を引き起こし、これまでの根絶への努力が無駄になってしまう恐れがあります。実際に、2011年現在、常在国4カ国の周辺17ヶ国においてもポリオ症例が報告されており、子どもたちの健康を脅かしている現実があります。

■ニコニコBOX

21名	23,000円
累計	759,000円
目標額	130万円
達成率	58.3%

■今週のことば

■出席報告

会員数	33名
出席対象	33名
出席者数	24名
出席率	72.7%
前回修正	84.8%

■ 次回のプログラム

2月7日

社会奉仕委員会

「ブナの植林事業」と「里山整備事業」の転換について



◇幹事報告◇

【報告事項】

①本日は、第8回理事会が行われ、2月例会日程等の協議を致しました。

02/02 小松会員による会員卓話

新世代奉仕委員会

09 ブナの植林・里山整備各事業について

社会奉仕委員会

16 会員増強について経過報告等

会員増強委員会

23 米山奨学留学生「王暁慧」さんの卓話

国際奉仕委員会

②諏訪グループ I MのPRに小松ガバナー補佐並びに小笠原実行委員長が見えました。IMの成功に絶大なるご協力をお願い致します。

【連絡事項】

①2月のロータリーレートは1ドル78円となっております。

【受領文書】

ウィークリー 諏訪RC 岡谷エコーRC

長野南RC:創立30周年記念誌

第 1256 回例会

会員卓話「職業奉仕について」

職業奉仕委員会

大澤 邦彦

1912年、アーサー・フレデリック・シェルドンは、職業奉仕の概念を確立した。

それは、「自分の幸せは、自分の周りにいる人々の幸せと決して無関係ではない。良質の職業人とは、自己改善を重ねて自分の職場を健全に守ると共に、取引先、下請業者、従業員、顧客など、自分の事業に関係を持つ全ての人に幸せをもたらす事である。そして、その心を持つ事業を営めば、必ず最高の利益が得られる事を自分の職場で実証する事によって、奉仕の精神の必要性を地域全体の職業人に伝えていかなければならない。」と言う考え方の事業活動が職業奉仕である。

又、彼は、悪い習慣がはびこり、浮き沈みの激しい町で、持続して繁栄している企業に共通して見られる特徴が、サービスである事を発見しました。価格が安い事だけがサービスでなく、経営者や従業員の顧客への態度や気配り、商品や業務に対する責任、顧客が感じる満足感と公平感、こういったもの全てがサービスであり、サービスこそが企業の永続的発展と成功を保証する唯一の



方法であることを発見しました。

100年前にこの事を提唱したシェルドンは素晴らしい。だから、ロータリーは、永遠に衰退しない。企業活動の基本あります。

中国の論語に、「利を見ては義を思う」があります。

経営者の仕事は、知恵をしばり利益を追求することです。

問題は、利益を追求する為に何でもして良いか、当然、否である。定められた法律を守るのは当然である。しかし、法律を守っていれば充分かと言えばそうでもない。

それに加えて、義を守る必要がある。常に義を念頭におき、義を踏みはずしてはいけない。義は正しいという意味、正義である。人間として守らなければならない人の道であります。法に違反すれば、それなりの罰を受けるが、仮に義を踏み外しても法律では罰せられない。しかし、義は法以外の問題である。企業イメージ、信用、信頼を失う。

有子（じゅんし）曰く「先義後利」「義を先にして利を後にする者は栄え、利を先にして義を後にする者は辱められる」利は利益だけではなく、強欲、名誉欲、出世欲も含まれる。人間社会の中で自然に生まれる優しさや思いやりのことを「仁」と言う。この仁を大切に生きる方を「義」と言う。会社経営も人間社会も、人として正しい道、倫理、道徳を守り、大切にしたいものです。

IM(インターシティミーティング)PR

2011-2012 Intercity Meeting が諏訪大社ロータリークラブをホストクラブとして下記のように開催されます

日 時 平成24年3月4日(日)

登録受付12時30分 開会13時～

会 場 マリオローヤル会館

このPRのために、小松郁俊諏訪グループガバナー補佐と、小笠原弘三IM実行委員長が来訪されPRをなされました。私たちも全員参加の心意気で大いに協力し盛り上げましょう。



なお参加人員の把握などは後日連絡いたします。